先人の知恵と技術に感謝
次世代へつなぐ決意新た

農業水利施設の温故知新

〈最終回〉

郡司県農地局長と歩く

県農地局の郡司局長とともに県内9カ所の農業施設を巡り歩く「温故知新」シリーズは、2023年6月から12月までの約半年・全9回に渡って連載した。世界かんがい遺産の十石堀（北茨城市）を皮切りに計9カ所を巡る旅は、先人たちの知恵と技術、情熱と苦労を体感できた。最終回となる今回は、郡司局長に9カ所を振り返ってもらうとともに、農業水利施設への思いを聞いた。

シリーズを通してさまざまな農業水利施設に触れました。どれも先人の知恵と情熱が詰まった施設だと私も実感し、学ぶものも多くありました。シリーズを通じて、郡司局長の受け止めを教えてください

北茨城市の十石堀からシリーズが始まり、水戸市の武具池まで合計9カ所の農業水利施設を巡りました。先人の知恵が盛り込まれた全ての農業水利施設は、地域農業に多大な貢献をしてきており、ただただ頭が下がりました。また、施設の老朽化に対し次世代の方々が、その時々の技術を駆使して継承している様に大変感銘を受けました。

消費者の皆さまの食卓に今後も安心安全なお米や野菜が並ぶように、これまで以上に農業農村整備に取り組み、地域農業を継承してまいります。

先人の知恵と技術のおかげで現在の農業が成り立ち、現代ではその知恵と技術が積み重なってより高度な事業を進めていると思います。次世代に伝えたい現代の知恵や最新技術などをご紹介ください

先人が造成、維持管理してきた農業水利施設を次の世代に継承していくためには、農業の持続化（生業として継続していくこと）が非常に重要です。農業の持続化には、儲かる農業を実現し、農業を魅力ある産業にしていかなくてはなりません。そのためには、高収益作物などの品目転換や、農地を担い手に集積・集約し大規模経営を行う必要があります。

大規模・経営にあたっては、いかに人数で施設管理・営農を行っていくかが重要となります。省力化のために、用排水機場等の遠隔監視・操作システムや水田の水位をスマートフォンでいつでもどこでも確認できる水田センサー、水田センサーと連携して水田への用水の供給を自動でコントロールしてくれる自動給水栓等のIoT技術が開発されています。

県としましても、このようなIoT機器の普及を進めるべく、国の支援事業を活用した基盤整備事業や2023年度より水田水管理の取路拡大など成長産業化を進め農林水産業を魅力ある産業にしていかなくてはなりません。そのためには「常に現場に目を向ける気持ちを大事にすること」のみならず、組織の力がとても大切になるため、農地局の若手職員の皆さんには、さまざまな職種や関係機関と連携し「同じ釜の飯を食う」ような一体感を持って、課題に取り組んでいっていただきたい。

農業の持続的な発展のためには、農業農村の強靱化、インフラ長寿命化が必要不可欠でありますため、企業の皆さまにもお一層のご支援・ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

都司局長も技術者として農業界発展のため長く尽くされてきました。その経験と技術力を後世に伝えてほしく、次世代の農業界を担う農地局の若手職員、ハード面を支える業界企業に一言いただければ幸いです

技術の普及を進める「普及職」や、生産技術や新しい品種を開発する「研究職」、また農業生産の基盤を整備する「農業土木職」においても、仕事の相手は、現場の農家であり農産物を買って食べる消費者でもあります。

儲かる農林水産業を実現するには、生産性の向上やブランド力の強化、国内外にわたり安定的に発揮させていく必要があります。まず、基幹的な農業水利施設については、施設ごとに機能診断の結果やライフサイクルコストを考慮して個別施設計画を策定するとともに、施設の重要度や緊急性を基に優先順位をつけながら対策工事を進めております。

昔と比べ現代は維持管理や更新に比重が置かれ始めていると思います。農業を支えてきた先人の技術を継承する施設をこれからも元気に稼働させるため、今後の施設更新計画の概要を教えてください

県内の農業水利施設は、用排水機場や頭首工などの点的施設が約7千カ所、用排水路等の線的施設が約1・9万㎞あります。今後、施設の老朽化により、維持管理や営農に支障をきたす可能性があることから、計画的に補修や更新を行い、これらの機能を将来

また、より身近な排水路など末端の農業水利施設については、地域の皆さま自らが行う適切な点検や補修などの活動にあたり、多面的機能支払交付金等を活用して支援しております。こうした施設の種類や規模に応じた取組により農業水利施設の長寿命化を図ってまいります。

県内9カ所　県が誇る施設を振り返る（2023.6.20～12.5）

1 十石堀（じゅっこくぼり）（北茨城市）

（6月20日付掲載）

2 伊讃美ケ原円形分水工（いさみがはらえんけいぶんすいこう）（筑西市）

（7月4日付掲載）

3 福岡堰頭首工（ふくおかぜきとうしゅこう）（つくばみらい市）

（7月19日付掲載）

4 延方干拓排水機場（のぶかたかんたくはいすいきじょう）（潮来市）

（8月8日付掲載）

5 本新排水機場（もとしんはいすいきじょう）（本新島干拓（もとしんじまかんたく））（稲敷市）

昭和20年代後半の造成風景

現在も現場の一線で活躍している

（8月22日付掲載）

6 青木堰（あおきせき）（桜川市）

（9月6日付掲載）

7 鵠戸沼干拓（くぐいどぬまかんたく）（坂東市、境町）

干拓前のようす

干拓後（現在）

（10月11日付掲載）

8 辰ノ口堰（たつのくちぜき）（常陸大宮市）

（11月7日付掲載）

9 武具池（ぶんぐいけ）（水戸市）

（12月5日付掲載）